

平成28年度学校関係者評価

1 自己評価及び本校教育活動に対する学校関係者評価委員からの意見

- ・様々な教育活動の成果報告から教育活動の成果が上がっていることがよく分かった。
- ・農業高校の特性を生かし、地域社会との連携を積極的に図ると良い。
- ・白楊の特色である科の特色を生かしての連携は価値が高い。
- ・国公立大学の進学者にも、教科書レベルの出題にも解答できない生徒がいる。基礎学力の保証が重要である。
- ・学校の課題とされている学習習慣の確立のために、一番重要なことは、「自分が何に興味を持っているのか。」「何のために学ぶのか。」を自分の言葉で語ることであり、そのために必要な指導を心掛けて欲しい。
- ・白楊三訓である「挨拶励行」「時間厳守」「整理整頓」といった指標について、何のために行うのか。何のために必要なのか。それらを生徒自身のグループディスカッション等により目的意識を持たせることに重点を置くと良いのではないかと考えられる。生徒自身の出した答えを全校生徒、教師で共有することで「規則を守る」ことの大切さも学ぶことができる。
- ・一部、教職員間の不協和音が教職員アンケートから読み取れる。生徒も察知するので解消に向けた取り組みが必要である。

2 学校関係者評価に基づく今後の改善方策等

- ・農業・工業・商業・家庭の全ての専門学科を持つという本校の強みを活かした教育活動

を展開して行く必要がある。そのためには、それぞれの学科の特色に応じた教育活動（具体的には地域交流活動、地域ボランティア活動や資格取得など）を更に深化させる事が大切である。また、学科の相互連携を図ることで、それぞれの学科の持ち味を活かした、共通の教育活動を実践することで、それぞれの学科の役割や働きを自覚させ、自学科の有用感を感じることが重要であり、それを自学科に対する自信や誇りに繋げて行きたい。

- ・「家庭学習の習慣化」、「規則を守る」といった日常的な心構えや姿勢の定着において大切なことは、「生徒自ら考え行動する」という意識付け、つまり、「主体的教育活動」の実現に向け取り組んで行く必要がある。具体的には、生徒の自己理解を促し、自身の興味関心を踏まえ、将来の夢を語り、そのためには何が必要かを理解させることが肝要である。また、「規則を守る」事の必要性については、アクティブラーニングにより、生徒自身にその必要性に気づかせる事が大切である。
- ・教職員が、やりがいを持って意欲的に、そして共通理解を持って教育活動に取り組むことで、より効果的で高度な教育活動が展開されることは言うまでもない。そのためには、教職員一人ひとり全員で、風通しの良い職場環境作りのために心掛けて行きたい。